

岐阜県立関特別支援学校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

**校 訓**

**盡 力 必 成 (じんりよく ひっせい)**

当校は、『盡力必成』を校訓とし、その言葉通り、児童生徒たちがそれぞれの可能性を最大限に引き出し、成長するために尽力しています。この校訓を胸に、私たちは児童生徒一人ひとりの個性や能力を尊重し、支援しながら、未来への道を切り拓いていきます。



【校 章】

皆さん、お気づきになっているかもしれませんが、当校の校章は山査子（さんざし）の花をモチーフにしています。校章の中央にある「Y」は、成長する若芽の様子と、開校時の校名である「岐阜県立**養護**学校」の「Y」を表しています。

山査子は、メイフラワー（5月の花）とも呼ばれ、5月になると当校の校庭でも、白く美しい花を咲かせます。山査子

の花は、その美しさと強さで知られていますが、その花言葉は「希望」「新しい光」です。この花言葉が示すように、当校の児童生徒たちは「希望」を胸に、「新しい光」を求めて、様々な困難に立ち向かいながらも、自らの力を信じ、成長し続けています。私たちは、児童生徒一人ひとりが輝ける未来を築くために、全力でサポートし続けます。



【山査子の花】

さて、令和6年度は、小学部2名、中学部5名、高等部6名の新入生と、小学部1名の転入生を迎え、全校児童生徒40名でのスタートとなりました。今年は、甲辰（きのえたつ）の年にあたります。甲辰は、暦学的には「活気に満ちた創造性」や「新しい始まり」を象徴すると言われていています。この意味を当校に置き換えてみると、新たな可能性や挑戦に満ちた年になることを意味します。今年は、近隣の大学との連携を図りながら、何か新しいことに挑戦し、成長する機会にしたいと考えています。どうぞ、新たな可能性や挑戦に満ちた当校を見守ってください。

このホームページには、当校の概要や学校行事、進路状況、学校評価、地域支援事業等、多くの情報を掲載しています。当校についてご理解を深めていただくとともに、その魅力も知っていただけると幸いです。皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【令和6年4月】